

県民の皆様へのお願い

夏のクマに注意！

夏はクマが里地に最も近づく季節です

○ 山の食べ物が少なくなります

夏は、山の中でツキノワグマの食べ物が少なくなるため、人里近くに出没し、人身被害のリスクが高まったり、農作物へ被害を与えたりすることがあります。

○ 若いクマが親離れする時期になり、里地に近づく恐れがあります

夏は1～2歳の子グマが母クマと別れて暮らし始めます。若いクマは人への警戒心が薄く、生活域を求めて里地へ出没する危険性が高まります。

○ クマの交尾期にあたり、特にオスの行動範囲が広がります

6～8月頃にかけて、オスがメスを探すために広い範囲を行動します。

【ツキノワグマ出没注意報を発出中です！！】

<ツキノワグマ出没注意報>

○木曽・長野・北信地域：6月30日（月）まで

○北アルプス地域：7月31日（木）まで

<里地へクマを近づけない対策を！>

- ・畑や果樹園等の周囲には、電気柵を設置したり、周辺のヤブをあらかじめ刈り払ったりするなど、クマを寄せ付けない対策をとりましょう。
- ・生ゴミは、クマにとって栄養価の高い食べ物です。一度餌付いてしまうとその場所に執着するようになり、人に見つかることを恐れなくなるなど、人身被害の可能性が高まります。長時間屋外に放置しないように適切に管理をしてください。
(クマが誘引される物：漬物、廃油、油性塗料、燃料 等)

<クマと遭遇してしまったら…「あわてず落ち着いて行動」することが重要です>

○遠くにいる場合

- ・静かにその場から立ち去る(クマが先に人に気付けば、ほとんどの場合クマの方から逃げる)。

○近くでバツタリ遭遇してしまった場合

- ・背中を見せて逃げるのは禁物(逃げる物を追いかけるのはクマの本能)。
- ・大声で叫んだり、石などを投げつけたりせず、ゆっくり後ずさりして離れる。

○襲ってきた場合

- ・急所である顔や喉、後頭部や腹を守る姿勢(地面に伏せ両手で首の後ろを守る等)をとる。
- クマに遭遇してしまった場合の正しい対処法やとってはいけない危険な行動を紹介中です。
(以下の URL 又は二次元コードからご視聴ください)。

【視聴方法】YouTube にて視聴いただけます。

(<https://www.youtube.com/watch?v=16h5dRID1LU>)

ツキノワグマ出没警報・注意報
発出マップ

